

日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆および発表要領

I. 講演要旨原稿の作成要領(執筆例参照)

1. 原稿用紙および印刷方法

- (1) 原稿用紙は、A4判上質白紙に限ります。印刷機等の都合でA4判以外の用紙に印刷する場合、縮小あるいは拡大コピーしてA4判の大きさにしたものを原稿として下さい。この場合、縮小あるいは拡大コピーした後の原稿が以下に示すA4判の大きさに適合するようにし、かつ鮮明なものとして下さい。
- (2) 原稿枚数は、図表も含め2枚までです。
- (3) 原稿はワープロまたはタイプを使用し、黒地で鮮明に印字して下さい。手書きは受け付けません。
- (4) 原稿はそのままの形でオフセット印刷します。A4判上質白紙に、左右各15mm、上20mm、下25mmの余白を取り、その枠内に文章、図表が収まるようにして下さい。

2. 原稿作成方法

- (1) 題目、発表者、登壇者は、発表申し込み時に提出された申し込み書と同一のものに限ります。
- (2) 原稿の文字は9~10ポイントの活字(1行45字を目安)とし、行数は50行を目安として下さい。
- (3) 題目、発表者の所属および氏名は、1枚目の1~6行に記入して下さい。なお、講演番号を記入いたしますので、1~4行は左40mmを必ず空白にしてください。題目は本文よりも大きな活字あるいはゴシックで書いて下さい。発表者の所属および氏名は右に寄せて記入しますが、発表者の多い場合は所属ごとの改行をせず、続けて記入して下さい。また、発表者が複数の場合、登壇者の氏名の前に○印を付けて下さい。
- (4) 5~6行に1コマ目から、題目、発表者の氏名および所属を英語でこの順に続けて記入して下さい。区切りはコンマで示して下さい。所属は、括弧書きとしますが、できるだけ省略した記載法を用いて下さい。なお、前置詞、接続詞等を除く単語は、最初の文字を大文字にしてください。英語での原稿の場合、この要領で日本語を記入して下さい。
- (5) 本文は2段組とし、7行目から書き始めて下さい。2段組のための中央部の空白は5mmを目安にしてください。本文は、目的、実験方法、結果、考察、結論などの項に分け、それぞれの文頭にこれらを明示して下さい。研究内容によりこれらの項に分けにくい場合は、項の一部を省略してもかまいませんが、上記に相当する内容を必要とします。

- (6) 記号や略号などは、学会ホームページの投稿論文執筆規定にならって下さい。
(<http://www.jswe.or.jp/kais/jour/kitei/kitei2009.pdf>)
- (7) 特定の商品の宣伝と思われるもの、あるいは内容が不適当と認められるものは、返却もしくは訂正を求める事があります。
- (8) 原稿用紙の上部左側の空白部に研究委員会名(略称)、頁(1/1あるいは1/2、2/2)および登壇者氏名を鉛筆で必ず記入して下さい。

3. 図表の作成方法

- (1) 図表は黒色で鮮明に作成し、細かい字や図は避けて下さい。
- (2) 図表は、原則として、原稿の右側片段に直接記入するか、または別に作成したものを貼り付けて下さい。図表をトレーシングペーパーなどに書いて原稿に貼り付ける場合は、図表の上端のみしっかりと貼り付けて下さい(ペーパーボンド、両面テープ、スプレーのりがよい。セロテープは不可)。
- (3) 写真の貼り付けは、図表と同様にして下さい。なお、写真に対する特別な配慮はいたしません。

II. 講演要旨原稿の送付

- (1) 締切日: **2009年7月10日(金)** 必着
- (2) 送付物: 原稿1部および原稿の原寸コピー2部の計3部。原稿用紙の上部右側の空白部に、オリジナルの場合「正」、コピーの場合「副」を鉛筆書きして下さい。また、原稿は二つ折りにしないで板目紙とともに送付して下さい。
- (3) 原稿送付先: 各研究委員会シンポジウム連絡担当へ送付して下さい。
- (4) 原稿が上記期限までに到着せず、その後の作業に多大な支障をきたす恐れがあると判断された場合、遅着原稿は欠番としますのでご注意ください。

III. 講演発表要領

<発表の心得>

- (1) 一般講演の講演時間は、各研究委員会で決められます。時間を厳守して下さい。
- (2) すべての会場で液晶プロジェクターの利用が可能です。
- (3) 聴講者の専門度を考慮し、冗長にならず、わかり

やすい発表ができるよう準備して下さい。

- (4) 発表にあたっては、次の点に留意して下さい。
 - a. 研究の意義と位置づけ
 - b. 研究に伴って得た周辺知識のまとめ
 - c. 得られた興味深い所見
 - d. 重要な成果の例示
 - e. 得られた所見の有用性
 - f. 今後の発展方向
- (5) 発表日時は、「水環境学会誌」**2009年8月号掲載予定のプログラム**を参照して下さい。
- (6) 発表者は、発表予定時刻の 30 分前までに必ず発表会場に入場して下さい。

<スライドの作成>

以下の点に留意して、スライドを準備して下さい。

- (1) 1 枚のスライドの説明時間：約 1 分(1 分以内で説明できないスライドは好ましくありません。)
- (2) 1 枚のスライドの内容：1 つのテーマの内容とし、盛りだくさんとしなない。
- (3) 表、式はなるべく避け、単純なグラフ、スケッチ等を用いて、シンボリックな表記をする。
- (4) 原図のサイズ：高さ20cm×幅20cm以内(前列の聴講者による死角を考慮し、特に高さは厳守)。
- (5) 文字、記号のサイズ：和文字——1cm 角以上、添字——5mm 角以上、アルファベット大文字——1cm 角以上、小文字——5mm 角以上、記号——4mm 角以上
- (6) 文字の行数：13 行以内
- (7) 文字の太さ：1.0mm 以上
- (8) グラフの直線、曲線等の太さ：1.5mm 以上
- (9) 題目を含む序に相当するものを第 1 ページとする事が好ましい。
- (10) 最後に“まとめ”を箇条書きにすることが好ましい。
- (11) 各スライドの下中央に鮮明にページを付けると質疑の際に言及するのに役立ちます。

日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆例

龍谷大学理工学部 ○琵琶 湖太郎、水 澄志

An Example of the Manuscript for the Proceedings of the Symposium of JSWE, by Kotaro BIWA, Sumashi MIZU (Dept. of Sci. & Eng. /Ryukoku Univ.)

【2段組段間余白 5mm 程度】

1. はじめに

.....

【文字 9~10ポイント】

2. 実験方法

.....

3. 実験結果

.....

4. 考察

.....

5. 結論

.....

表1 実験条件

【図表 右段】

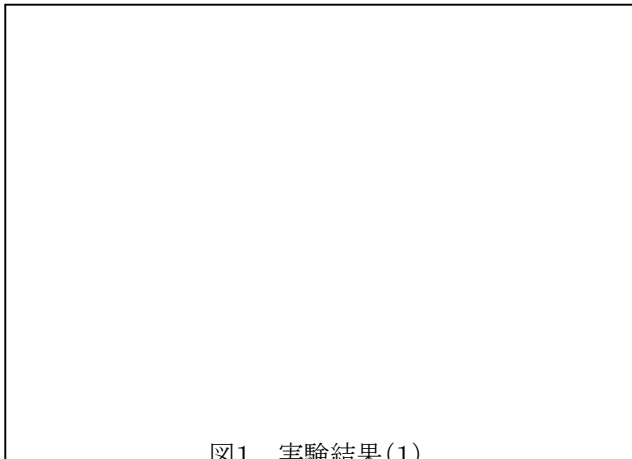


図1 実験結果(1)



図2 実験結果(2)

参考文献

.....